

くらしと商売を壊すインボイス制度の 実施中止の声を大きく広げよう！

2019年10月からの消費税率10%への引き上げによる日本経済の冷え込みは、さらにコロナ禍、異常な円安・物価高騰が追い打ちをかけ、国民生活、地域経済に深刻な打撃となっています。

こうした中で、国は10月から消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）を実施しようとしています。インボイス制度が始まると、フリーランス、一人親方、外注下請けなどの免税事業者との取引は、仕入れ税額控除が認められなくなり、その負担を被ることになるため、免税事業者は、インボイス発行事業者（課税事業者）となり、新たな税負担と事務負担を押し付けられることになります。免税事業者が課税事業者にならない場合、値引きの強要、取引の停止を迫られる可能性もあります。免税事業者のままでは、取引先との関係悪化にもなります。消費税負担分を価格に転嫁せざるを得なくなり、消費者にとっては更なる物価高騰にもつながります。

軽減措置ではなく、中止しかない！

また、インボイス制度実施にあたって「経過措置」、「負担軽減」を示していますが、いずれも時限的なものであり、納税者の負担を軽減するものではありません。全ての事業者に影響があるインボイス制度が、中小・小規模の事業者に多大な影響が懸念されている現状では、導入を中止することが必要です。「STOP！インボイスオンライン署名」は20万人を超え、地方議会からの政府に対する意見書も300を超える自治体と急速に広がっています。



立憲民主党、共産党、れいわ新選組、社民党などの衆参議員90人が所属している超党派議連は6日、インボイス制度に反対する会合が、東京・永田町の衆院第1議員会館であり、元内閣官房参与で京都大大学院の藤井聡教授が講演で「物価高騰に国民が苦しんでいるときに導入はありえない」と訴えました。

コロナ禍・物価高騰のもと、多くの中小事業者に負担を課すことは、コロナ禍からの経済再生を阻害することになります。小規模事業者の存続と冷え込んだ地域経済再生のため、本年10月から実施されるインボイス制度の中止を求め、あきらめずに粘り強く署名活動、集会・学習会への参加をしていき、インボイス制度中止の意思表示をしていきましょう。

無理!! もう増税

STOP! インボイス 全国一揆

6.14水 国会正門前

18時~20時終了予定

当日、YouTubeチャンネルで中継致します <https://www.youtube.com/@stop1502>

今年も、冷や麦入荷しました！ご予約は民商まで！！

手に入るのは **ここだけ!**

今年も長ひやむぎをお届けします。
みなさんのご利用で生産・出荷が確保できました。

1箱 3500円

プロが使う麺です。一度食べれば違いがわかります。

使いやすい110g小袋×50束入り。
同程度の市販品は1箱4800円くらい
ですので、とてもお買い得です。
ご注文は民商へお申込みください。

『長ひやむぎ』は… 最適な水と気候で定評ある山梨の製造元
＝(株)はくばくの業務用特選“多加水麺”で、『高級手打ち麺』
としてプロも使用するおなじみのものです。

編集後記 6月14日(水)に、国会前で「STOP！インボイス一揆」が行われます。全国各地でも、一揆行動が行われます。YouTubeでも中継がされ、視聴することができます。インボイス中止の声を全国で大きく上げましょう！ぜひ参加ください。

